

褐斑病の多発が予想されます。既発生園や前年多発園では、速やかに特別散布を実施しましょう。

現在の状況

- 1 8月後半の巡回調査では、発生園地率は35.5%（平成6.5%）、発生程度が高い園地は19.4%（平成1.6%）で、発生園地率・程度ともにいずれも過去10年で最も高い（図1）。
- 2 本病が8月から早期にみられる年には、秋期に広域で多発する傾向にある（図2）。

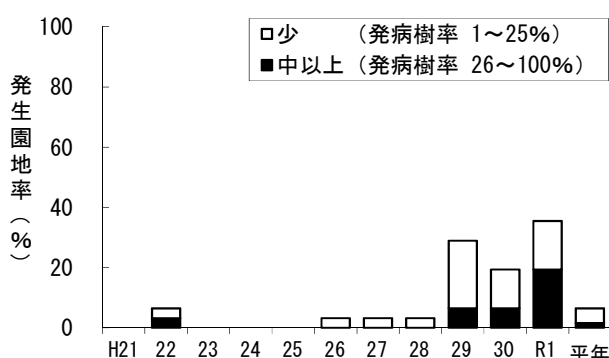


図1 褐斑病の発生園地率の年次推移（8月後半）

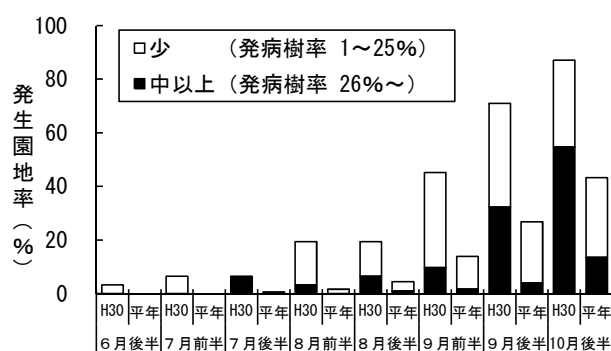


図2 褐斑病の早期発生年における発生園地率の時期別推移（平成30年）

防除対策

「令和元年度病害虫発生予察情報注意報第3号（令和元年7月25日発表）」に基づき、以下の防除対策を講じる。

- 1 本病の発生が確認された園地や前年多発園（前年秋期に黄変落葉が目立った園地）で、これまでに特別散布を実施していない園地では、速やかにトップジンM水和剤またはベンレート水和剤を特別散布する。特別散布は、散布時期が早いほど防除効果が高い。
- 2 これまでに特別散布を実施した場合でも、園地をよく観察し、本病の発病増加がみられた場合には、再度、特別散布を行う。
- 3 定期的に園地をよく観察する。黄変葉や褐色の病斑葉が確認されたら、付近の葉を含めて観察する。本病であれば、病斑や病斑付近の緑色の部分に黒色虫糞状の粒々（分生子層）が必ず観察される（図3）。



図3 褐斑病の病斑（病斑上に形成された黒色虫糞状の粒々が特徴）

【利用上の注意】

本資料は、令和元年8月28日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。

- ・農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・農薬使用の際には、**(1)使用基準の遵守(2)飛散防止(3)防除実績の記帳**を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆病害虫防除に関する情報は、いわてアグリベンチャーネット
(<https://i-agri.net/Index/gate003>)からご覧いただけます。